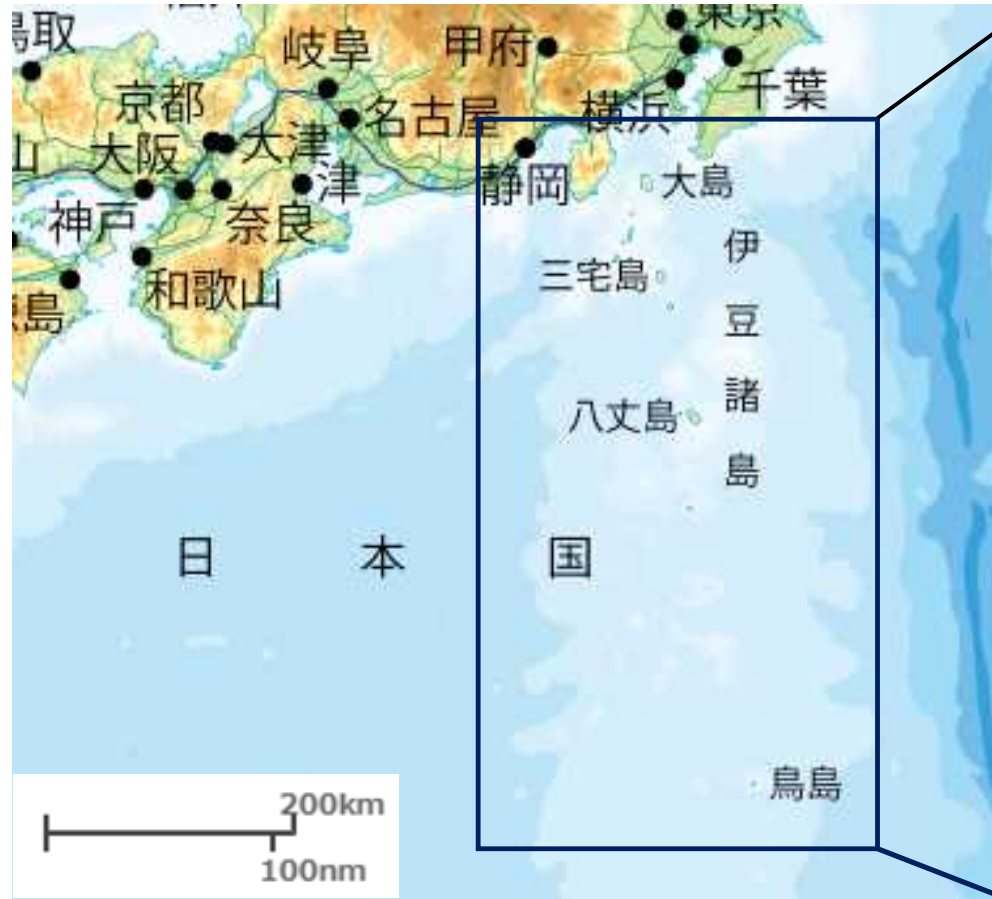
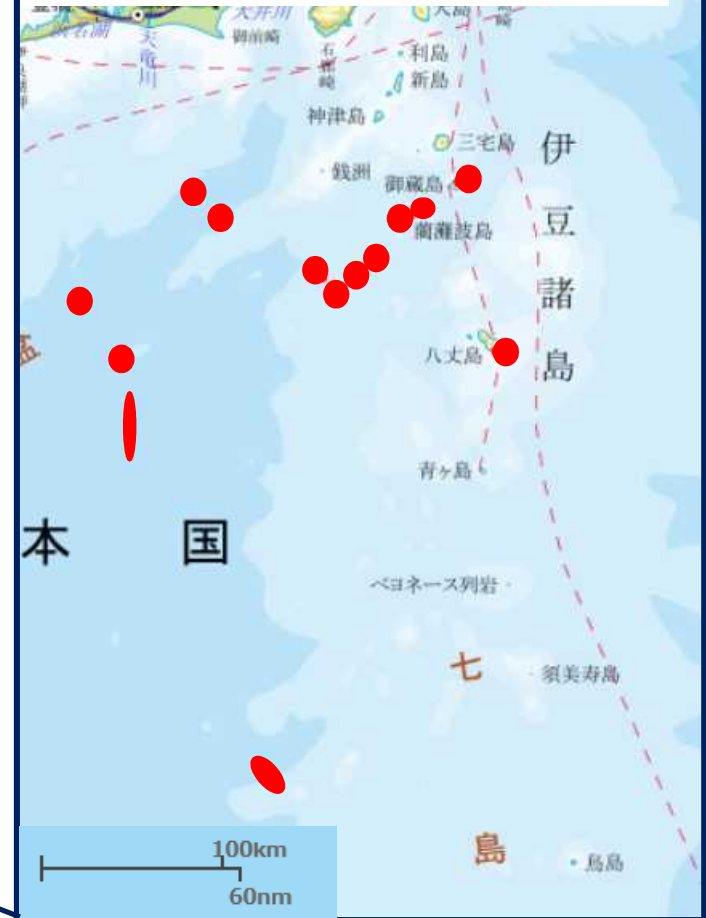


当庁航空機が軽石と思われる漂流物を確認した海域 (イメージ図)



出典：海洋状況表示システム
(<https://www.msil.go.jp/msil/hm/topwindow.html>)
国土地理院



確認日時：令和3年11月19日（金）午後0時頃～午後3時45分頃

確認場所：右図に赤色の点を記載している付近海域

※各状況については、次頁以降に記載します。

軽石と思われる漂流物の状況写真

①の位置の状況



出典：海洋状況表示システム
(<https://www.msil.go.jp/msil/hlm/topwindow.html>)
国土地理院



確認場所：御蔵島スバル岩から北東方
約800メートル付近海域

漂流状況：上記海域において、1メートル×50メートルの範囲を
筋状に漂流中

※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。

軽石と思われる漂流物の状況写真

②の位置の状況

出典：海洋状況表示システム
(<https://www.msil.go.jp/msil/hm/topwindow.html>)
国土地理院



確認場所：八丈島南端から東北東方

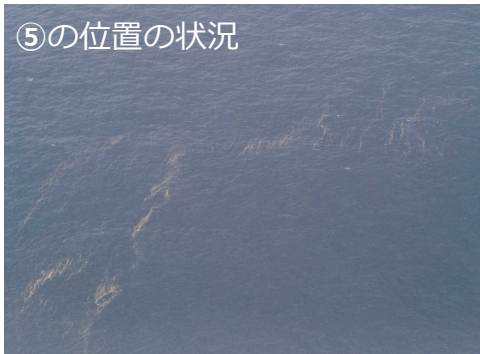
約1.7キロメートル付近海域

漂流状況：上記海域において、2メートル×100メートルの範囲を筋状に漂流中

※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。

軽石と思われる漂流物の状況写真

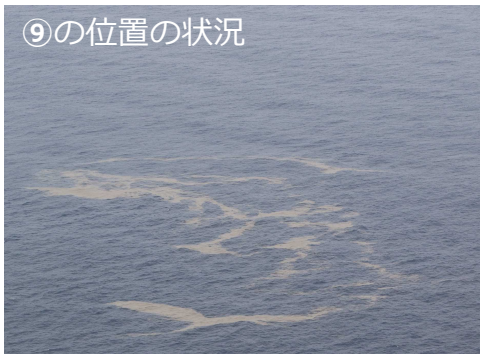
⑤の位置の状況



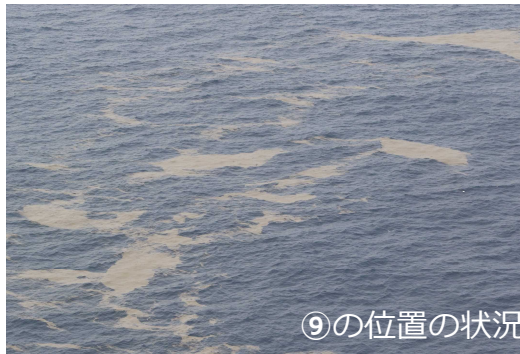
⑧の位置の状況



⑨の位置の状況



⑨の位置の状況



⑫の位置の状況



⑫の位置の状況



漂流位置及び漂流状況

- ③33-45N 139-24E付近、2m×500m2本筋状
- ④33-43N 139-20E付近、2m×200m5本筋状
- ⑤33-31N 139-08E付近、2m×500m4本筋状
- ⑥33-26N 139-03E付近、2m×100m約50本筋状
- ⑦33-22N 138-53E付近、2m×100m2本筋状
- ⑧33-25N 138-49E付近、2m×200m30本筋状
- ⑨33-43N 138-12Eを中心に三日月状、広範囲に漂流物 最大幅約5.4km
- ⑩33-48N 138-05E付近、2m×20m30本筋状
- ⑪33-19N 137-23E付近、2m×200m10本筋状
- ⑫33-01N 137-37E付近、2m×100m50本筋状

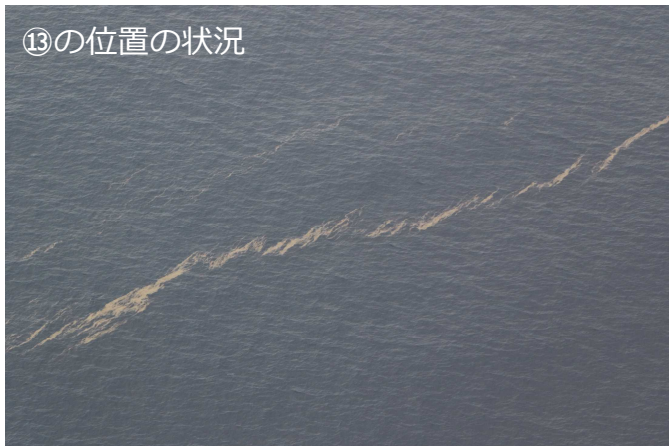
確認場所：上記イメージ図③～⑫の付近海域

漂流状況：上記海域において、約2メートル×5～500メートルの範囲を筋状にて漂流中

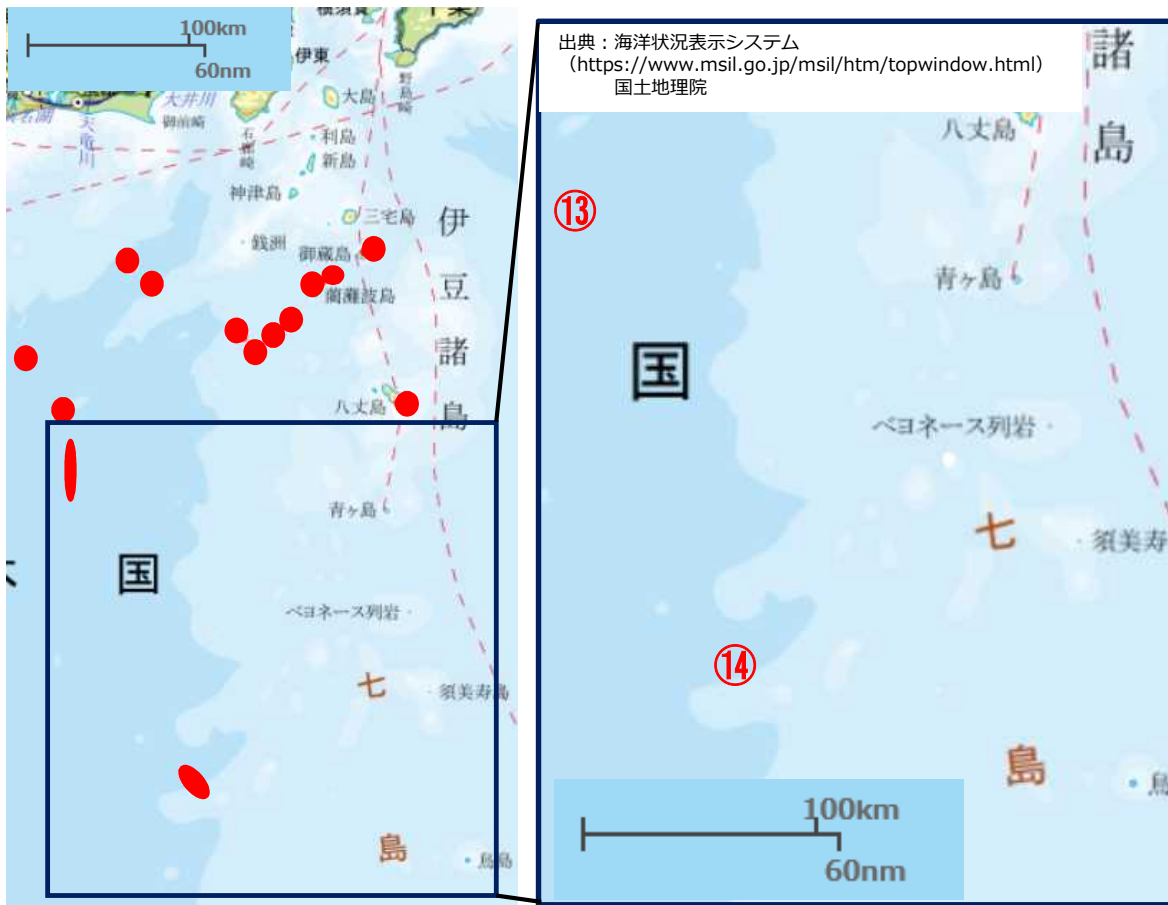
※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。

軽石と思われる漂流物の状況写真

⑬の位置の状況



⑭の位置の状況



確認場所：⑬ 32-47N 137-41Eから32-31N 137-41E

⑭ 30-58N 138-24Eから30-52N 138-34E

漂流状況：上記海域において、約2～50メートルの範囲を筋状にて漂流中
※この他の海域においても広く漂流している可能性があります。